

2023/7/18 (火)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 20 章 19 節 (新約聖書 210 頁)

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。

*Peace be with you.*

イエスの時代、週の終わりの日は、七日目の安息日でした。いまの土曜日です。だから「週の初めの日」とは土曜日の次の日、いまの日曜日です。ただ当時の一日は前の日の夕方から始まりますから「週の初めの日の夕方」とは土曜日の夕方です。

私が学生時代に通っていた教会は土曜日の夕方に礼拝がありました。一週間あったことをふり返り、翌日の日曜日の礼拝に出席するために心を静める時でした。チャントをアカペラで歌い、とても静かで心が穏やかになりました。

イエスの神の国を伝える旅路は一年ないし三年と、とても短いものでした。弟子たちは選ばれ、イエスの教え、たとえ話を聞き、病人や身体の不自由な人が癒やされるのを目の当たりにしましたが、彼らは悟らず、イエスを裏切り、ユダヤ人を恐れ、逃れ、閉じこもりました。

イエスは彼らの真ん中に立ち、平和の挨拶をしました。誰もが交わす日常の挨拶です。どんなに弟子たちが無理解で、過ちを重ね、不十分で、臆病であっても、イエスは何事もなかったように、何も言わず「平和があるように」といつものように挨拶をしたのでした。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちの平和はどんな時にもあなたと共にいることです。あなたは十字架で死に三日後に甦られた後も、弟子たちに平和があるようにといつものように挨拶されました。わたしたちの平和はどんな時にもあなたが共にいることです。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、あなたと共に喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン